

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 10 月 3 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (10/3 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系: 約 2.0 m ³ /h	34.8	106.0 kPa abs	A系: 0.00 vol%
		給水系: 約 2.9 m ³ /h			B系: 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系: 約 5.0 m ³ /h	46.1	5.91 kPa g	A系: 0.07 vol%
		給水系: 約 1.9 m ³ /h			B系: 0.08 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系: 約 4.5 m ³ /h	47.5	0.20 kPa g	A系: 0.22 vol%
		給水系: 約 2.4 m ³ /h			B系: 0.21 vol%

* 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

【2号機】・10/1 22:33 現在、2号機原子炉压力容器代替温度計設置に向けた作業を実施している中で、温度計挿入作業については模擬試験を行い作業性の確認を行っているが、原子炉压力容器の圧力が模擬試験時の値を超えている状況を確認したことから、2号機原子炉格納容器に封入している窒素封入流量を5m³/hから0m³/hへ変更。

なお、原子炉压力容器窒素封入量は 15 m³/hで変更なし。原子炉压力容器の窒素封入量については、最低必要流量9m³/h に対して 15m³/h を維持しており、プラントパラメータおよび周辺のモニタリングポスト等に有意な変動は見られていない。また、今回の操作に伴い、原子炉格納容器水素濃度、原子炉格納容器圧力、原子炉格納容器雰囲気温度、原子炉圧力の監視を強化している。

・10/2 9:39～11:57 原子炉压力容器内圧力が低下傾向(本日午前5時時点:6kPa)となったことから、予定していたコイルガイド(温度計を入れる前のガイド)の挿入作業を実施。

・10/3 8:30～ 代替温度計の挿入作業を開始。同日 11:03、設置作業完了。11:00 時点における当該温度計により測定された温度は 42.6℃であった。これは現在監視計器としている原子炉压力容器下部の監視計器(TE-2-3-69H3)の 11 時時点の温度 46.1℃と概ね一致していることを確認。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (10/3 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	28.0
2号機	循環冷却システム	運転中	27.9
3号機	循環冷却システム	運転中	25.8
4号機	循環冷却システム	運転中	32

* 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
4号機	4号機タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [プロセス主建屋]	9/28 10:20 ~ 移送実施中
6号機	6号機タービン建屋	→ 仮設タンク	10/3 10:00 ~ 15:00 移送実施

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (10/3 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	運転中	停止中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

*フィルタの洗浄を適宜実施。

- H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。
- H24/9/25 11:03 第二セシウム吸着装置の配管部等の健全性確認を目的とした検査を実施するにあたり、同装置を停止することから、タービン建屋の水位の状況等を踏まえて、セシウム吸着装置を起動。
12:59 第二セシウム吸着装置を停止。
- H24/10/3 9:00～所内電源工事に伴う受電切り替えに関連しセシウム吸着装置および淡水化装置(逆浸透膜式)を停止。
なお、10/4に第二セシウム吸着装置を起動する予定であり、滞留水処理装置の停止期間が短いこと、およびバッファタンク内に淡水化処理した水は十分あることから、原子炉への注水に影響はない。

<5. その他>

- H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- H24/3/6 ～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- H24/10/1 1号機原子炉建屋カバー排気フィルタ設備による原子炉建屋上部のダストサンプリングを実施。
- H24/10/3 15:35 頃 5, 6号機建屋内の滞留水を処理している淡水化装置(停止中)の点検において、当該装置中継端子台に焦げ跡があることを当社社員が発見。このため、同日15:56、消防署へ連絡。なお、周辺の機器への影響は確認されていない。

以 上